

IAUD Newsletter Vol.4 第09号 (2011年10月号) 目次

1. 特集：特別ワークショップ「48時間デザインマラソン in かなざわ」開催速報・・・1
2. 国内外 UD 動向・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

金沢観光の魅力を高める UD デザインを提案 ～特集：「48時間デザインマラソン in かなざわ」開催速報



UD の普及啓発と人材育成を目的とした特別ワークショップ「48時間デザインマラソン in かなざわ」(主催：IAUD, 後援：金沢市、金沢商工会議所)が9月29日(木)から10月2日(日)の4日間、金沢美術工芸大学(石川県金沢市)で開催された。今回は「金沢観光の魅力を向上させる UD」をテーマに、ユーザーや企業のデザイナー、学生ボランティアなどで構成された5チーム43名が参加。最終日の公開審査には一般の方

や報道関係者など約130名が来場し、ベストデザイン賞には視覚障害者でも金沢の多彩な料理を手触りで識別できるお弁当のデザインが選ばれた。

今号は4日間の様子を、写真を中心にデザインマラソンを運営したワークショップ委員会によるメモと合わせてお伝えします。

9月29日(木) 16:00～17:30 事前ミーティング

翌日からのワークショップ本番を前にミーティングが開催され、ユーザーや企業のデザイナー、学生ボランティアなど43名の参加者が、遠くは福岡県から、会場である金沢美術工芸大学の研修室に集合した。

監修する金沢美術工芸大学の荒井利春教授から、ワークショップの概要や参加者への期待などについて説明があり、その後A、B、C、D、Eのチームごとに打ち合わせを行った。



9月30日（金）9:00～10:00 開会式



美大ホールで開会式が開催された。

監修の荒井教授から、ユーザー参加型ワークショップの狙いと特色、メンバーそれぞれが果たすべき役割と期待することなどについて説明があった。さらに、今回のテーマである「金沢観光の魅力向上させるUD」に関して、人と暮らしと伝統文化、歴史、自然との交歓を、地域に住む人々はもとより、観光客など様々な人々が享受するリアリティーのあるデザインの提案を目指してもらおうとの話があった。

会場には地元メディアである北陸朝日放送のTVクルーと北陸中日新聞、北国新聞の取材陣も訪れた。

11:00～17:00 フィールド調査



各チームはディスカッションの後、フィールド調査のため金沢市街地へと出かけた。雨中の調査となったが、参加者には厳しい条件下が逆に普段気づくことのない状況に遭遇できるというプラス面をもたらした。また、これまで雨天の際には滅多に外出したことがなかったユーザーが、雨中の歩行にチャレンジしていた。

各チームは兼六園や21世紀美術館、近江町市場、茶屋街など、多数の観光スポットを精力的に訪問した。

現地現物で様々な問題点を確認し、体験を共有して、会場である金沢美術工芸大学に戻った。



17:00～19:00 チーム作業 調査概要まとめ
19:00～20:30 交流会



各チームはフィールド調査によって明らかになった気づきと課題、解決策などについて検討に入った。

夕食後は美大ホールで情報交換会を実施した。学生ボランティアが、フィールド調査の状況や気づき、デザイン検討の方向性などに関して発表した。

10月1日（土）9:00～21:00 チーム作業



本格的なデザインワークが始まった。メンバー各人の様々な気づきの中からデザインのテーマを絞り込み、具体的なデザイン提案に収斂させる作業で、多層的な経験と知識が混ざり合い融合して新たなデザインが検討されていった。

作業が順調に進んでいるチームもあれば、暗礁に乗り上げて方向性を決めきれないチームもあった。荒井教授は5つの部屋を巡回して議論に耳を傾け、それぞれの節目でアドバイスを与えていた。今回は各チームとも提案を絞り込むのに相当な時間がかかり、明け方まで作業を行っていた。

10月2日（日）8:00～10:00 プレゼン準備

睡眠不足の中、午後からの公開プレゼンテーションに向け、各チームはプレゼン資料や模型の作成に集中して取り組んだ。ナレーションの練習や寸劇の練習をしているチームもあった。

12:30～15:15 チーム発表・公開審査



美大ホールで、チーム発表と公開審査が行われた。会場には一般の方や報道関係者など約130名が来場した。

まずはチームごとの公開プレゼンテーションが行われた。Aチームから順にメンバー全員が壇上に上がり、提案デザインのプレゼンテーションを10分間行った。48時間の思いをこのわずかな時間に凝縮していた。提案されたデザインは、どれも素晴らしくリアルティ溢れるものであった。



各チームの提案

Aチーム:金沢の伝統的な切り折りをヒントにしたつながる買い物袋。車椅子ユーザーがたくさん買い物をした時に持ちやすいよう、まとめて持つことができるもの。

Bチーム:スムーズに乗り降りできるバスシステム。バスの車体と停留所を一体化させている。

Cチーム:加賀前田藩の紋である梅鉢をあしらった六角形が多機能プリペイドカード。買い物だけでなく、様々な情報の蓄積と引き出しができる。

D チーム：容器の手触りを変えて視覚障害者でも金沢の多彩な料理を識別できる弁当スタイル。円筒の筒におむすび型をした小さな容器を重ねて入れる。

E チーム：シンボリックな傘に観光地図をディスプレイ表示したり、照明点灯も可能な人々が集う場所を提供するプロジェクト。



プレゼンテーション後、来訪者約 130 名による投票があり、「ベストデザイン賞」には D チームが、「ベストプレゼンテーション賞」には B チームが決定し、IAUD の西村澄夫副理事長よりトロフィーが授与された。

西村副理事長は「今回のワークショップではデザインの力を十分に訴求出来たと確信した。今後は報道などの効果で、市民と行政に何処まで影響を与えられるか期待したい」と述べた。

また、来賓の金沢美術工芸大学の久世建二学長、金沢市の森源二副市长からも、提案されたデザインの素晴らしさを称えると同時に、メンバーへのねぎらいの言葉をいただいた。

開催の様子は 10 月 13 日（木）、午後 5 時 36 分～54 分のスーパー J チャンネルで放送予定（北陸地区のみ）。

Newsletter 第 11 号（2011 年 11 月初旬発行予定）には、ワークショップ委員会による詳細な開催報告を掲載いたします。

国内外 UD 動向

進化する MUD セミナー開催のご案内

～UD の先進企業「Panasonic」と「KOKUYO」の取組と将来について学ぶ

メディア UD 協会メンバーの大阪府印刷工業組合が、一般企業向けの MUD セミナーを 10 月 21 日（金）18 時より、エル・おおさか（大阪市）で開催します。

第 1 部は MDU 協会理事の山本順氏による講演「MUD の最新実例」、第 2 部は「UD の取組と今後について」をテーマにしたパネルディスカッションです。

詳細は以下のリンクをご参照ください↓

http://www.osaka-pia.or.jp/img/topicspdf/topicspdf_141.pdf

次号は 10 月下旬発行予定

特集（予定）：韓国での国際 UD 招請講演会及び国際 UD 学術祭での川原専務理事講演報告 他

無断転載禁止

IAUD 情報交流センター（IAUD サロン）：
〒104-0032 東京都中央区八丁堀 2-25-9 トヨタ八丁堀ビル 4 階
電話：03-5541-5846 FAX：03-5541-5847 e-mail：salon@iaud.net